

第1回あわらし行政改革等推進委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 平成30年9月20日(木) 13:30～17:05
- 2 場 所 あわらし役所203議室
- 3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価
- 4 資 料 ・平成30年度施策評価シート
- 5 出席者 委員：桑原美香（会長）、達川昌美、大宮健司、岡正實、佐孝修彦
内部委員：城戸橋総務部長、笹井財政部長
市民生活部：杉本市民生活部長、内田市民課長、渡邊生活環境課長、
矢部市民課長補佐
土木部：小嶋土木部長、鳥山土木部理事、龍田建設課長、永井新幹線まちづくり
課長、岩田上下水道課長
健康福祉部：藤井健康福祉部長、島田福祉課長、大代子育て支援課長、笹木健康
長寿課長
事務局：武田政策課長、山口政策課長補佐、山本政策課主査

6 会 議

- ・委員委嘱
- ・会長互選 桑原委員を選出
- ・委員の出席状況の報告（伊藤委員、富田委員、八木委員が所要のため欠席）
- ・議事

※以下の議事録において、施策番号は【 】、事務事業番号は〈 〉で表記する。

会長 平成30年度行政評価に係る外部評価に関し事務局の説明をお願いする。

13:35～

事務局 （行政評価シートの見方及び外部評価の説明）

13:43～14:43

会長 市民生活部所管施策に関し事務局の説明をお願いする。

事務局 （【1】環境の保全【2】循環型社会の構築【4】安心なまちづくりの推進【12】社会保障制度の充実の説明）

会長 【1】環境の保全について意見や質問はないか。

委員 プラスチックごみの問題がクローズアップされている。プラスチックごみの減量に対してどのように考えているか。

市民生活部長 中国の受け入れ拒否により処理単価が上がっている。ごみの絶対量を減

らすことはすぐには難しいが、啓蒙や事業所への抜き打ち調査を通してリサイクルの周知徹底を図っている。

政策課長 波松地域は海岸の清掃を年6回実施している。そうした地域の取り組みに対する支援も行っている。

委員 <8>適正な愛玩動物飼育について、依然空き家に何十頭といたことがあった。行政として早急に対応願いたい、どのように対応するか。

政策課長 県の保健所との連携もそうだが、地域の方の協力が大きく、結果的に全36頭が里親にだされ、殺処分はゼロであった。粘りづよい対応が効果を発揮した。

市民生活部長 空き家対策の面、去勢への助成を通してトータルで対策を実施している。

委員 <3>環境学習の指標クリーンアップ活動の実施回数60回のうち、市全体での実施割合は。一斉清掃日のように市全体で動いたほうが効果があるのではと考える。

市民生活部長 市としての全体行動は年1回。学習会はカウントせず、クリーンアップの回数が60回。

生活環境課長 全体行動は6月に実施した。

委員 年2回はやったほうが良いと考える。

市民生活部長 どういった形で増やすか検討していきたい。

委員 湖も海も山もあるあわら市の環境を良くしていただきたい。

委員 指標、多いのか少ないのか比較のしようがない。全国平均や坂井市の状況などがあれば比較がしやすい。

政策課長 改良したい。

総務部長 総合振興計画の指標を採用しているが、これは策定時の状況を踏まえながら、五年間で達成可能なものとしている。今後の評価にあたり、客観的な比較の方法を検討したい。

会長 【2】循環型社会の構築について意見や質問はないか。

会長 <3>ごみの収集運搬の指標の方向は↓ではないか。

市民生活部長 単価が低すぎたので、今までは上げることが目標であった。

総務部長 適正水準と考える17,000tを超えたため、今後は↓が目標となる。設計額の7割を目標としている。

市民生活部長 振興計画上の設定がある目標ではないので、見直しを図りたい。

会長 【4】安心なまちづくりの推進について意見や質問はないか。
会長 <8>消費生活相談件数が倍近くになっている理由は。
市民生活部長 専門の相談員を配置し、丁寧に説明をする中で実績が上がってきた。
会長 内部委員意見にある講座の対象年齢は。
市民生活部長 架空請求の啓発が多く、年齢はさまざま。旧芦原庁舎で開催を検討し、敷居を下げていきたい。
会長 ネット上での詐欺も巧妙化している。従来の高齢者だけでなく、ネット上での啓発など、若い人も対象とした対策を行われたい。
生活環境課長 県や国で毎月研修を受け、常に最新情報を得るようにしている。
総務部長 今年度、防災行政無線を活用した啓発も実施した。
委員 特定空家は何件か。
市民生活部長 19件。普通の空き家は581件。
委員 特定空家になる前に周知は。
総務部長 周知して改善するような物件は特定空家にまでならない。相続人がいない
 などそういったことが不可能なものになってしまう。市の補助制度を活用し、3件取り壊す予定。相続放棄すれば関係ないという考え方を改めさせないと増える一方となる。
委員 空き家所有者への指導は。
市民生活部長 指導は特定空家しかできない。普通の空き家はお願いという形に。
委員 廃旅館はなんとかならないか。
総務部長 相続放棄されており、なかなか難しい。今後大きな課題となる。
生活環境課長 空き家相談会を年2回開催し、利活用も進めている。

会長 【12】社会保障制度の充実の説明について意見や質問はないか。
会長 内部評価意見 アンケートでの受診率向上とあるが、どのような手法か。
市民課長 アンケートで性格等を分析し、通知文の文面や色合いを変えたところ、5パーセント近く改善した。今後も創意工夫を続けたい。

14：50～15：53

会長 土木部所管施策に関し事務局の説明をお願いします。
事務局 （【18】土地利用の適正化、【19】道路交通網の整備、【20】新幹線開業に向けたまちづくり、【21】機能的なまちの整備と景観への配慮、【22】

上水道事業の運営、【23】下水道事業の運営の充実の説明)

- 会長 【20】新幹線開業に向けたまちづくりについて意見や質問はないか。
- 委員 新幹線芦原温泉駅の乗降客数の見通しは。
- 土木部長 現状3,400人/日、2023年は3,200人/日に減少見込のところ、新幹線開業効果により3,700人/日への増加を想定。
- 委員 通過駅と化さないか懸念。
- 土木部長 そうならないために、ソフト面の充実を図っているところ。
- 委員 自動車学校の跡地利用はどのように考えているか。引き止めはできなかったか。
- 新幹線まちづくり課長 現在、自動車学校運営には2ヘクタールが必要となる。経営が厳しいことや物件の関係で坂井市に移った。利活用については、工事中の仮設駐車場を想定しているが、開業後を見据え誘致策を検討する必要がある。
- 委員 北陸新幹線関係で福井県450億ほど追加だったかと思うが、沿線自治体の負担は。
- 新幹線まちづくり課長 県として負担の軽減を要請しているところであり、追加分の費用負担割合は決まっていない。

- 会長 【18】土地利用の適正化について意見や質問はないか。
- 会長 <3>地籍調査はほぼ完了したということか。
- 総務部長 5年後の目標に対する達成率は93パーセントとなっているが、市全体からは10パーセントも終わっていない。人と人の話となり調整が難しい。
- 会長 事情に詳しい人がいなくなる前に少しでも進める必要がある。

- 会長 【19】道路交通網の整備について意見や質問はないか。
- 委員 今年2月の大雪では融雪がついている道路でも車が動けなくなった。また、除雪業者の事情も分かるが、物を壊されたり、背丈を超える雪壁を玄関前に作られるとつらい。また、屋根雪により道路をふさぐ家への指導を強化してほしい。屋根用ヒーターを設置した。大阪で倒壊したブロック塀に対する考えは。
- 建設課長 融雪・消雪はこれほどの大雪では水が足りなくなったり、水温的な問題で効果が減り除雪が必要となる。ただし、除雪により融雪装置が破損する恐れもあり、見極めながら適切に対応していきたい。屋根からの落雪については、区のみなさんの協力も必要となる。広報を強化したい。屋

根融雪は需要が少ないことから補助事業も終了している。ブロック塀については、国の動向も見極めながら検討していきたい。学校施設については教育総務課において安全点検を実施している。

総務部長 ブロック塀は個人財産であり原則個人での対応となるが、全国的な状況を踏まえ国において補助事業が検討されている。

会長 災害時、すべてを同時に対応することは不可能。食料や燃料を運ぶ主要道路を優先する必要があるかと思うが、内部的な検討は。

建設課長 国道8号については要望し国において退避場所の設置等検討が進められている。また、加賀市とも首長をはじめ話し合いを行っている。石油備蓄基地からの路線については、一部県道のため県において検討を行っている。

新幹線まちづくり課長 生命線道路の確保については今までも計画はあったが、想定を上回った。これを踏まえ更なる検討を行っている。

会長 【21】機能的なまちの整備と景観への配慮について意見や質問はないか
会長 都市公園の新たな管理方法とは。

建設課長 都市公園については地区に委託しているが、高齢化等により難しくなってきた。市が業者委託し除草するなどを検討している。予算の関係もある。

会長 時代とは逆行しているのでは。

建設課長 現実、地区がシルバー等に業務委託しているところもあり、地元の作業負担軽減を検討しないと、解決が難しい状況。

会長 地区への指定管理？

建設課長 委託。収入がないため、指定管理にしたところもあるが委託戻すこととなった。

会長 自分たちの公園なので自分たちでという話にはできないか。

建設課長 最近の公園は設立時からそのように協定を結んでいるが、昔からのものは難しい。

委員 <5>放置自転車を再利用して観光等に活用できないか。

政策課長 放置自転車は所有権を放棄されているかが定かではないので、再利用できない。また、他自治体で実施してトラブルになった事例があり難しい。

会長 【22】上水道事業の運営について意見や質問はないか。

委員 災害時水道の断水が問題となる。地下水利用に助成はできないか。

建設課長 地下水も水質検査を実施の上、市としては活用しているが、個人への利用に助成することは水道行政と逆行するためできない。

総務部長 温泉地区は温泉が出てしまい井戸を掘れないという事情もある。

会長 【23】下水道事業の運営の充実について意見や質問はないか。

会長 老朽化の対策は。

上下水道課長 今年度経営戦略を策定中であり、その中で老朽化対策も盛り込む。具体的にはテレビカメラ等で調査を実施している。

委員 金津市街地の接続率は。側溝清掃時に問題が起こる。対応できないか。

総務部長 条例により、5年以内の接続が義務化されているが、罰則規定がない。

上下水道課長 市全体で93%、古・新町で96%

会長 収納率が下がった原因は。

上下水道課長 隔月検針に変更し、11か月しか収入していないため。

16:01~17:04

会長 健康福祉部所管施策に関し事務局の説明をお願いします。

事務局 (【5】保健医療の充実、【6】健康づくり活動の実践、【7】地域福祉の推進と災害支援、【9】高齢者福祉の充実、【10】障害者福祉の充実、【11】児童福祉の充実の説明)

会長 【7】【9】【10】の現状、課題欄が前年度と酷似している。改善を図りたい。

会長 【5】保健医療の充実について意見や質問はないか。
(特に意見なし)

会長 【6】健康づくり活動の実践について意見や質問はないか。

総務部長 指標では健康づくりモデル39→41と増えているが、実際は休止が多いため、行政評価委員会では廃止を含めて検討するよう意見を付している。

会長 【7】地域福祉の推進と災害支援について意見や質問はないか。

会長 高齢者等を支える方を支える施策も必要といわれている。介護離職や、育児と介護を同時に行う世帯が増加している。新しい視点でのサポート

も必要ではないか。

総務部長 市単体でできる福祉制度の限界も見えてきている。地域性の違いもあり、抜本的な対策は見つかっていないが、現在全地区に対して課題・問題等の聞き取り及び地区による活性化プラン作成を進めている。その結果をふまえ、来年度以降の新たな支援策の策定を予定している。

健康福祉部長 未来の年表という本がある。恐ろしい勢いで高齢化が進む現状を担当部署として危惧している。あわら市は医療と介護の連携が進み先進地とは言われているが、全員が在宅で自分らしく最後まで暮らせるかというところではないのが現状である。

委員 <3>災害ボランティアの充実とはどのような事業か。

福祉課長 社会福祉協議会において、学校でボランティアに関する授業、実践等を行っている。また、災害時はボランティアの受け入れ窓口、日赤の奉仕団と連携した救援活動を実施している。

委員 福祉課だけでなく、教育委員会や市民課でも考えるべきである。福祉課でしかできないものを明確にしたほうがよい。

総務部長 全国的にボランティアセンターは社会福祉協議会にあり、市としては社会福祉協議会と直結している福祉課を窓口としている。

委員 今夏の災害に対し、募金等の話はでていないか。

福祉課長 西日本豪雨については日赤等で募金を実施している。北海道地震はこれから。

委員 姉妹都市との関係は。

総務部長 大雪時に除雪機を派遣いただいた。応援協定を締結している。

委員 素晴らしい取り組みであると思う。

会長 【9】高齢者福祉の充実について意見や質問はないか。

総務部長 高齢化率が32%と坂井市より5%ほど高い。

委員 要介護の比率は。

健康長寿課長 要支援1 123人 要支援2 117人 要介護1 419人 要介護2 224人
要介護3 228人 要介護4 251人 要介護5 172人 計1514人（前年比△40人）

総務部長 要介護1・2・3が過半数を占めている。

財政部長 重度化を防ぐことが重要となる。

会長 国としては元気な高齢者は会社で働いてほしい。会社では働けないが地

域で活動できるような方への対応は。

健康福祉部長 シルバービジネス（現行スモールビジネス）を検討したが、若い人の利用にとどまっている。

総務部長 シルバー人材センターのように被雇用者で充分という方が多い。細呂木地区でカフェ等を運営する取り組みが進んでいる。元気なお年寄りが頑張れる仕組みを作る必要があるが、具体的にはなかなか見えてこない。

会長 【10】 障害者福祉の充実について意見や質問はないか。

委員 障害者の雇用の水増しが問題となっているが、市として障害者を雇うつもりはないか。

総務部長 職員採用で障害者枠を設けるかどうかは毎年議論となっている。程度により、一般職が可能であればお受けいただきたい。また、枠の設定については国等の動向を見守りつつ来年にむけ検討したい。

委員 受け入れる側の理解がないと続かない。受入側の意識醸成を図られたい。

会長 ADHDなどによる手帳の交付は増えているか。

福祉課長 身体は減、知的は横ばい、精神（発達障害含む）は増加傾向。

会長 【11】 児童福祉の充実について意見や質問はないか。

委員 放課後子どもクラブの人員確保が大変だと聞く。坂井市並みに待遇を改善する考えはないか。

子育て支援課長 人員確保が難しく、シルバー人材センターにお願いしている状況。待遇について坂井市に近づくよう上げたが、それをふまえ坂井市も上げた。

総務部長 資格要件の緩和も行っている。

子育て支援課長 地域での子どもの居場所づくりについて学習支援も含め検討している。

委員 子ども医療費窓口無料化に関する財政的な状況は。

財政部長 実績として10パーセントほど医療費が上がっている。

委員 先進自治体の事例は。

子育て支援課長 6%ほど増えている。福井県でも一斉に窓口無料化したが、10%増は想定以上であるため、適正受診について保健師が啓発を行っている。県内実績は県がとりまとめ中であるため、注視していきたい。

会長 本日予定の案件はすべて終了した。以上で、本日の会議を終了させてい

ただ。

事務局

事務連絡（次回会議の件（9月21日（金））（17:05閉会）